

海外安全対策情報（２０１９年第３四半期）

１ 社会・治安情勢

- （１）凶悪事案は多くないものの、窃盗事件が多発しており、特にアテネでは地下鉄・駅等での邦人のスリ被害が極めて多い。
- （２）アテネでは各種労働組合等によるデモや抗議集会が連日のように行われている。ほとんどのものが平和的に行われるが、暴徒化することもあり、一定の注意が必要。
- （３）アナキストグループの活動が活発であり、様々な口実で、政府関連施設、企業、大使館等に対する攻撃を行っている。今後、何らかの理由で日本関連施設が標的となる可能性も排除できない。アテネのエクサルヒア地区では、夜間に警察官に対する火炎瓶等による攻撃が行われている。
- （５）フェリーや地下鉄などの公共交通機関が全面的に運休する大規模なストライキが度々行われている。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- （１）アテネでは邦人のすり被害が極めて多く発生している。プロ集団による犯行であり、在留邦人や旅慣れた旅行者も多く被害に遭っている。特に地下鉄車内や駅、シンタグマ広場周辺で被害が集中しており、常に警戒が必要。ここ数年被害が増加傾向にあるが、特に今期（本年７～９月）は被害が続発し、６０件以上もの窃盗被害が当館に報告された。
- （２）代表的な邦人被害事案の手口
 - ア 邦人被害では、アテネの地下鉄や駅におけるスリが最も多く、知らぬ間にリュックサックや鞆を開けられ財布等を盗まれている。被害防止のため、リュックサック等を身体の前でしっかり保持することが重要である。
 - イ シンタグマ広場やオモニアでは、話しかけられたり、液体をかけられたりして、荷物から目を離した隙に鞆などを盗まれる被害が多発している。プラカ地区では飲食店での置き引き被害が多く発生している。
 - ウ サントリーニ島のイアでは、人混みのなかでの路上スリが急増している。鞆、特にリュックサックは身体の前で保持することが重要である。

３ テロ・爆弾事件発生状況

爆発物でＡＴＭを破壊する手口の窃盗事件が多く発生している。

４ 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人等に対する誘拐事件及び脅迫事件は把握していない。

５ 日本企業の安全に関する諸問題

具体的な問題は把握していないが、当地では、労働者の待遇、解雇や作業事故などを口実として、アナキストが企業を攻撃するケースが多く発生しており、注意を要する。